

この作文集を手にとっていたあなたへ

私たちは、「令和元年度流山市平和大使」に選ばれた小学五・六年生三十人です。

私たち平和大使は、八月五日、六日に平和の尊さを学ぶために広島へ行き、そして、学び、感じたことを作文集にまとめました。被ばく体験伝承者から貴重なお話を伺い、平和記念資料館を見学した中から、私たちの想像を超える、原子爆弾の恐ろしさや悲惨さ、そして、現在でも多くの人がつらく悲しい思いをしていることを知りました。

平和記念公園では、「原爆の子の像」のもと、流山市民の皆さんの平和への思いが込められた千羽鶴を献納し、八月六日の平和記念式典には、安倍首相はじめ、国内外の代表者とともに私たちも参列し、原爆が投下された八時十五分に黙とうを行い、犠牲になられた方々のご冥福を祈りました。

私たち平和大使の任務は、終わっていません。それは、私たちが広島で学んだこと、感じたことを家族や友人に伝え、より多くの人に知ってもらい、平和のバトンをつなげていくことです。

この作文集を読んでいただいた方も、私たちと一緒に平和への想いを次世代につないでいきましょう。

◆目次◆

• 作文「平和大使として広島へ行って」1～31ページ

「74年前に思いを馳せて」	秋谷 陽向	(東深井小学校6年)	1ページ
「ぼくにできることを考える」	安宅 悠人	(小山小学校6年)	2ページ
「一番大切なこと」	飯塚 泉葉	(江戸川台小学校6年)	3ページ
「広島で学んだこと」	市村 颯太	(おおたかの森小学校5年)	4ページ
「広島で見聞きした悲惨な過去」	大村 響	(長崎小学校6年)	5ページ
「広島原爆」	小上 真那	(おおたかの森小学校6年)	6ページ
「平和の大切さを知って」	片崎 瑠維	(流山北小学校5年)	7ページ
「平和～どんな時もだれにとっても当たり前～」			
	亀山 知啓	(流山小学校6年)	8ページ
「平和の大切さ」	金城 琉維	(長崎小学校5年)	9ページ
「平和についてぼくが感じたこと」	工藤 奏人	(流山小学校5年)	10ページ
「広島へ行って感じた事」	久留井 結	(流山小学校6年)	11ページ
「平和を創る人、願う人」	河野 彩水	(流山北小学校5年)	12ページ
「あの日の広島」	古宮 渉	(東小学校6年)	13ページ
「広島に行って考えたこと」	近藤 慧人	(流山小学校6年)	14ページ
「平和なことが幸せだ」	島田 陽平	(西初石小学校6年)	15ページ
「平和大使としての使命」	白井 花菜子	(おおたかの森小学校6年)	16ページ
「あの日の事実」	新町 共生	(流山小学校5年)	17ページ
「「平和」のためにできること」	杉山 珠桜里	(西初石小学校6年)	18ページ
「未来の平和」	田内 あかね	(向小金小学校6年)	19ページ
「「平和」が続くためには」	高橋 颯太	(おおたかの森小学校6年)	21ページ
「平和大使として」	竹内 煌祐	(小山小学校6年)	22ページ
「世界平和への第1歩」	竹田 凌我	(小山小学校5年)	23ページ
「原ばくのこわさを知って」	田中 美羽	(流山小学校5年)	24ページ

「広島で知った「悲劇」と「苦しみ」	谷岡 幸	(おおたかの森小学校5年)	25ページ
「戦争のこわさ」	塚本 武士	(小山小学校5年)	26ページ
「平和について学んでいく」	中見 莉子	(おおたかの森小学校5年)	27ページ
「広島へ行って」	平澤 芽生	(おおたかの森小学校5年)	28ページ
「多くの命をうばった原爆」	村北 美樹	(西初石小学校5年)	29ページ
「平和とは何か」	村辻 奏	(おおたかの森小学校6年)	30ページ
「原爆の恐ろしさを知った」	渡邊 岳	(東小学校5年)	31ページ

• 写真集	32～36ページ
• 流山市の平和に関する取り組み	37ページ

